



クライアント初期設定マニュアル

(最終更新日 : 2016 年 12 月 16 日)



目 次 — The table of contents —

1.	はじめに	4
2.	注意事項	4
3.	クライアントアプリのセットアップ	5
3.1	iOS 初期セットアップ	5
3.2	Android OS 初期セットアップ	10
4.	ロック解除パターンの設定(任意設定)	13
4.1	iOS でのロック解除パターン設定	13
4.2	Android でロック解除パターン設定	14
5.	一般設定とセキュリティ設定	15
5.1	一般設定	16
5.2	セキュリティ設定	17
6.	メール	18
6.1	メールの同期設定	18
6.2	メールフォルダの設定	20
6.3	未読メール件数の表示設定 (iOS 端末)	21
7.	カレンダー	22
7.1	カレンダー設定同期	22
7.2	カレンダーの表示について	23
8.	連絡先	24
8.1	連絡先同期	24
9.	TO-DO (タスク)	25
9.1	TO-DO 同期	25
10.	その他	26
10.1	メモ同期 (サポート対象外)	26
10.2	フィード同期 (サポート対象外)	26
10.3	ファイル同期 (サポート対象外)	26

11. Q&A よくある質問	27
12. 改定履歴	31

1. はじめに

本書は Workspace Mobility のクライアントアプリセットアップ手順及び、基本的な利用方法について記載したものです。本書とは別に、下記の必要情報に基づきセットアップ作業を行ってください。

■ セットアップに必要な情報

- ・Workspace Mobility ホスト情報

※ホスト情報は、企業管理者にお問い合わせください。

※対象クライアントのサポート OS バージョンについては、Workspace Mobility の公式サイトを確認願います。

<http://www.ntt.com/workspace-d/>

※本マニュアルおよび FAQ については、Workspace Mobility のサポートサイトを確認願います。

<http://support.ntt.com/workspace-d/>

2. 注意事項

■ iOS 利用時の注意点

- ・App Store が利用できること (Apple ID、パスワードが必要)
- ・Jailbreak していないこと
- ・キャリアの保証対象外（ファームウェア差替えなど）となる改造がほどこされていないこと

■ Android OS 利用時の注意点

- ・Google アカウントが登録されていること
- ・root 化していないこと
- ・キャリアの保証対象外（ファームウェア差替えなど）となる改造がほどこされていないこと

※ Workspace Mobility サーバの設定で root 化された端末や jailbreak した端末をアクセス拒否します。

※本マニュアルに記載されている内容以外の機能及び作業に関しましては、サポート対象外となりますのでご注意ください。

3. クライアントアプリのセットアップ

iOS 端末や Android 端末へクライアントアプリを導入し、初回同期まで行います。

3.1 iOS 初期セットアップ

ここでは、iOS 端末へクライアントアプリをセットアップする手順を記載します。

1. クライアントアプリのインストールには、直接 App Store へアクセスを行い、クライアント端末に対して DME のインストールを実施いただく必要があります。「Apple Store」より「Workspace」をインストールしてください。

※クライアントアプリのインストール時には Apple ID が必要となります。

2. インストールが完了後、クライアントアプリを起動します。

※ クライアントアプリから連絡先、カレンダーへの接続要求ポップアップが表示されたら、許可設定をしてください。(プライベート領域へのすべてのアクセスをポリシーで制限している場合は、許可の必要はありません)

3. ログイン画面が表示されます。ドメインアカウントの「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、<ログイン>をタップします。

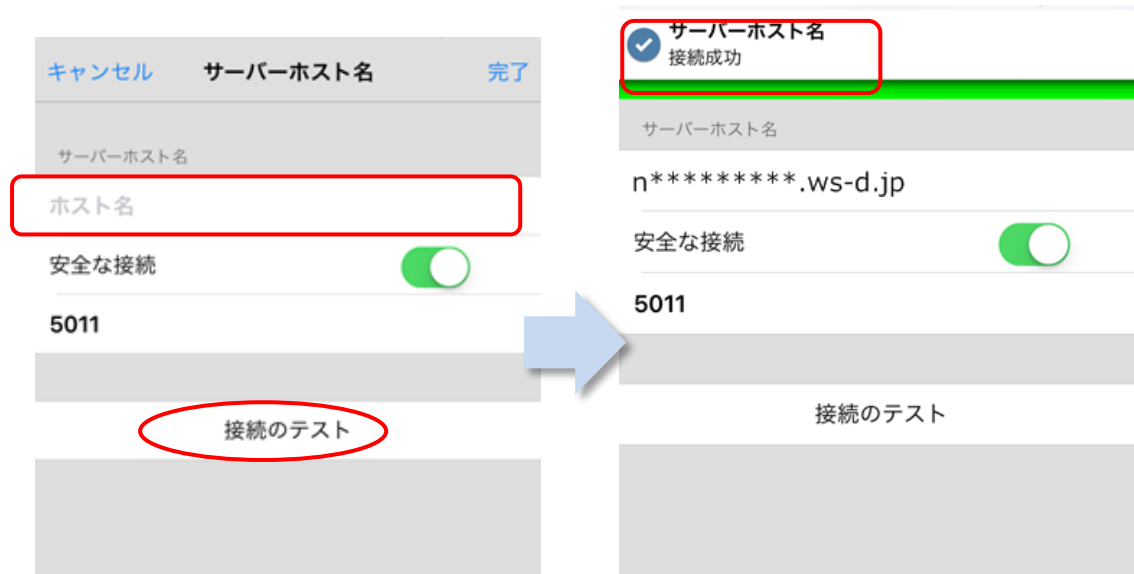
※ ユーザー名は大文字で表示されます。



4. 「サーバーホスト名」入力画面が表示されます。「ホスト名」の欄に、お客様毎にお知らせした Workspace Mobility サーバのホスト名を入力して、<接続のテスト>をタップします。「接続成功」と通知されたら、画面右上の<完了>をタップします。

※サーバーホスト名について分からない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

(サーバーホスト名の例： n000000000.ws-d.jp)



5. 「ようこそ」画面にて、ご利用端末の電話番号を入力してください。（WiFi 専用端末は対象外）

※お客様毎の運用ポリシーに従って SMS メッセージ送信およびデバイス管理用に電話番号を認識します。



- 接続した Workspace Mobility サーバ側の設定で「端末認証」の設定を使用していない場合と使用する場合で、端末側の手順が変わります。

■ 「端末認証」設定なし

クライアントアプリではデータ同期が始まります。完了するまでしばらくお待ちください。

Workspace Mobility のトップ画面が表示されたら、接続完了です。

— 注意 —

エラーが出てログインできなかった場合、先に入力した「ユーザー名」が「パスワード」が間違っていることが考えられます。ログイン情報を再度入力し試してください。

「ユーザー名」が間違っていた場合の端末上エラー

「端末認証」設定なしの環境で、下記エラーが表示された場合は、指定した「ユーザー名」が間違っています。＜キャンセル＞をタップして正しいユーザー名を入力してください。

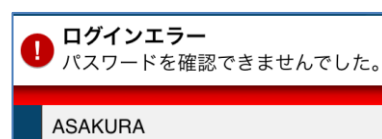


上記以外にも LDAP 上のアカウント問題で同じエラーが出ることがあります。

- LDAP と通信できない
- LDAP 上に指定したユーザーアカウントが無い
- 指定したユーザーアカウントがロックされている
※パスワードミスの認証を数回行くと LDAP 上でアカウントがロックされることがあります。
- Workspace Mobility _User グループのメンバーに追加されていないためアクセス権が無い

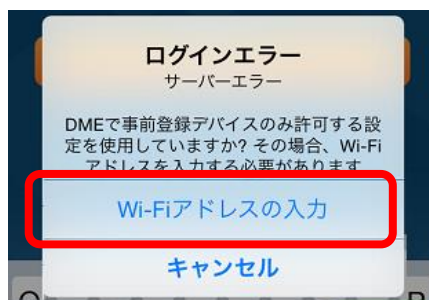
「パスワード」が間違っていた場合の端末上エラー

下記エラーが表示された場合は、指定した「パスワード」が間違っています。

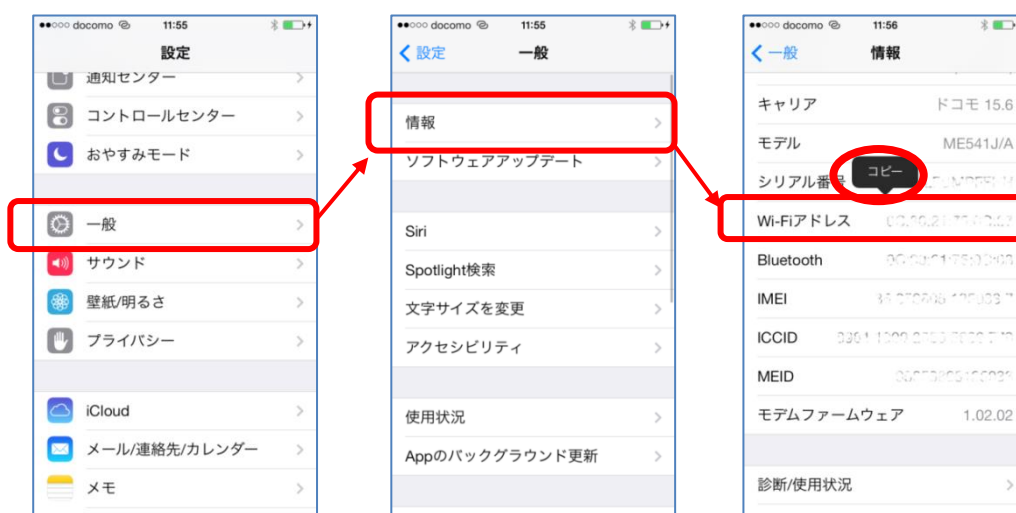


■ 「端末認証」設定あり

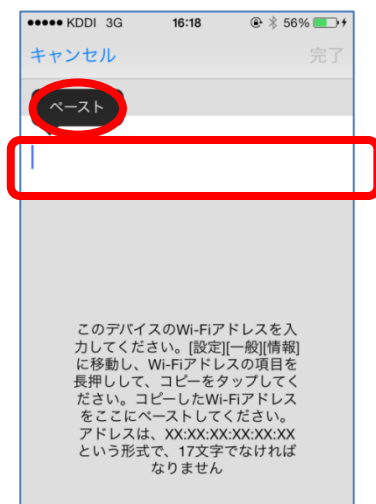
「端末認証」が Workspace Mobility サーバで管理者によって設定されている場合は、ログインエラー画面が表示され Wi-Fi アドレスの入力が促されます。<Wi-Fi アドレスの入力>をタップしてください。



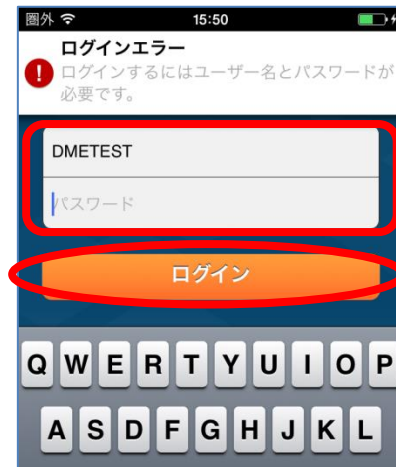
WiFi アドレスの入力画面が表示されたら、画面の説明に従い、端末のホームボタンを押して一度 iOS 本体の Top 画面に戻ってから、設定画面 [設定]⇒[一般]⇒[情報]に表示されている「Wi-Fi アドレス」を長押ししてコピーしてください。



端末のホームボタンを押して端末本体の Top 画面にもどり、再度 クライアントアプリをタップします。この画面が表示されたら、テキストボックスを長押しして貼り付け、<完了>をタップしてください。



ログイン画面が再度表示されますので、「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、<ログイン>をタップしてください。



Workspace Mobility のトップ画面が表示されたら、接続完了です。



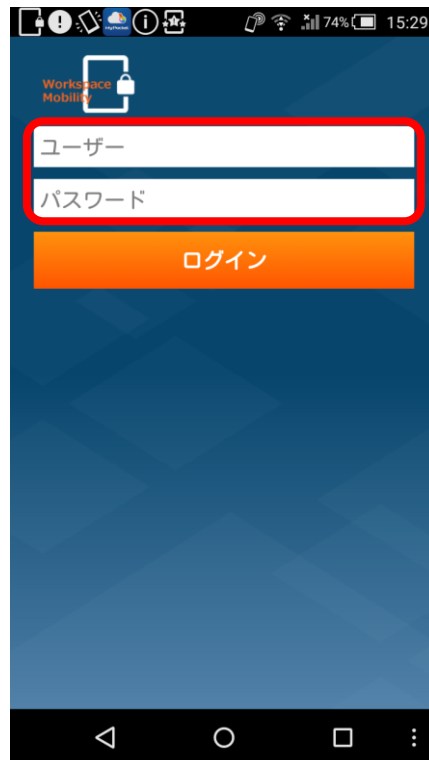
3.2 Android OS 初期セットアップ

ここでは、Android へのクライアントアプリのセットアップ方法を記載します。

※この手順書では Android4.2 の設定方法を例に記載しております。

1. Google Play ストアの検索画面で「Workspace Mobility」を検索し、< Workspace Mobility >をインストールしてください。
2. インストール完了後、アプリを起動してください。ログイン画面が表示されますので、ドメインのアカウントの「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、<ログイン>をタップします。

※ ユーザー名は大文字で記入されます。



3. サーバーホスト名入力画面が表示されます。「ホスト名」の欄に、お客様毎にお知らせした Workspace Mobility サーバのホスト名を入力して、<接続のテスト>をタップします。「接続成功」と通知されたら、<完了>をタップします。

※ホスト名の例： n000000000.ws-d.com

※ OS のバージョンによって、ホスト名が正しいにもかかわらず、接続エラーが表示される場合があります。「接続エラー。HTTP response code 500」と表示された場合は、ホスト名が正しいことを確認し<次へ>をタップしてください。

※ Workspace Mobility サーバの設定により「接続成功(HTTP 404)」と表示されることがありますが、問題はありません。<次へ>をタップしてください。



4. 電話番号入力画面が表示されます。電話番号(ハイフンなし)を入力し<完了>をタップします。

※ 電話番号は、Wi-Fi モデルでは、入力の必要はありません。



5. Workspace Mobility のデータ同期が完了するまでしばらくお待ちください。Workspace Mobility のトップ画面が表示されたら、セットアップ完了です。

※ エラーが表示された場合、入力した設定情報が間違っている可能性があります。一度アプリを削除し、再インストールを行ってください。それでもエラーが解消されない場合は、弊社担当営業までお問い合わせください。



4. ロック解除パターンの設定(任意設定)

ここでは Workspace Mobility のログイン方法をパターン入力によるスワイプログインに変更する方法を記載します。スワイプログインを使用することで、Workspace Mobility へ簡単にログインできます。

※2.スワイプログインを管理者によって無効化されている場合は使用できません。

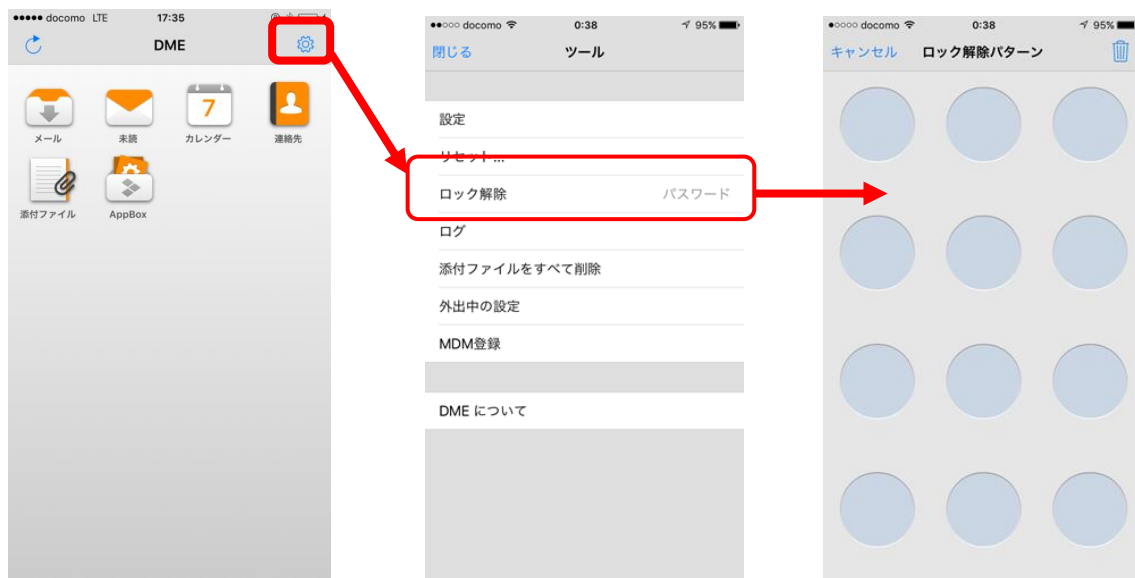
※3.スワイプログイン使用中でも、セキュリティのために一定時間経過後（デフォルトの設定値：24 時間）パスワードによるログインを求められます。

4.1 iOS でのロック解除パターン設定

Workspace Mobility のトップ画面から右上に表示されている歯車のアイコン(設定アイコン)をタップし、<ロック解除パターン>をタップします。

12 個の円形タイルが表示されるので、4 個以上の円形タイルを線で結ぶように指でなぞって設定します。

ロック解除パターンを 2 回入力し完了すると、次回ログイン時からスワイプログイン可能となります。



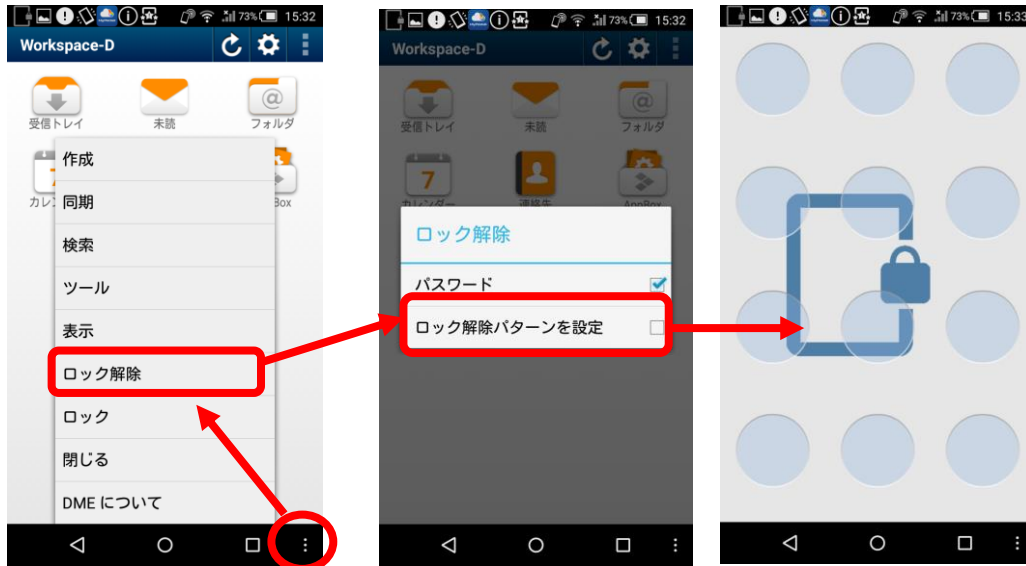
※4.ロック解除パターン使用時に、端末で ID パスワード入力画面を表示したい場合は、右上の“ログイン”ボタンをタップするか、端末を横向きにしてください。



4.2 Android でロック解除パターン設定

Workspace Mobility トップ画面で端末本体のメニューボタンをタップします。[ロック解除]-[ロック解除パターンを設定]をタップします。

ロック解除パターンを設定すると、次回ログイン時からスワイプログイン可能となります。



※ Android 端末のメニューボタンは、機種によって場所が異なります。またメニューボタンが物理ボタンの場合もあります。



※ ロック解除パターン使用時に、端末で ID パスワード入力画面を表示したい場合は、端末を横向きにしてください



5. 一般設定とセキュリティ設定

Workspace Mobility の各種ポリシー設定は、基本的にシステム管理者によるサーバ側での設定となりますが、利用者がクライアントアプリ側で変更できる設定があります。（※但し、システム管理者側で利用者によるクライアントアプリ側での設定変更をブロックしている場合がございますので注意願います。）

クライアントアプリ側で各種設定を実施するには、iOSの場合はTOP画面右上の[ツール]から[設定]をタップ、Androidの場合は端末本体のメニューボタンから[設定]をタップすることで、各種設定画面のカテゴリーリストが表示されます。



※上記画面は iOS のものです。Android の場合は、TOP 画面から端末本体のメニューボタンを押下後、[設定]をタップして各種設定画面のカテゴリーリストを表示してください。

各種設定画面のカテゴリーリストについて、次ページより説明します。

（※「サポート対象外」の記載のある項目については変更しないでください。）

5.1 一般設定

項目	OS	説明
起動時に開始	Android	端末の起動時にクライアントアプリを自動起動させる場合、本設定を Yes/Enabled にしてください。
電話番号	iOS/Android 共通	ご利用端末の電話番号を入力。お客様毎の運用ポリシーに従い、デバイス管理用に電話番号を認識する場合に入力してください。(但し、WiFi 専用端末は対象外)
ログイン時の戻るボタン	Android	クライアントアプリでログイン画面が表示された際に、端末のセカンダリ（「戻る」）キー押下時の操作を指定できます。以下の項目から指定可能です。 ■[DME を終了する]：クライアントアプリが終了し、ログアウトします。クライアントアプリを再度タップすると、ログインを求められます。 ■[DME を閉じる]：クライアントアプリが閉じられます。(最小化されます)
デスクトップの戻るボタン	Android	クライアントアプリでログイン画面が表示された際に、端末のセカンダリ（「戻る」）キー押下時の操作を指定できます。以下の項目から指定可能です。 ■[DME をロック]：クライアントアプリからログアウトします。クライアントアプリを再度タップすると、ログインを求められます。 ■[DME を閉じる]：クライアントアプリが閉じられます。(最小化されます)
サーバーホスト名	iOS/Android 共通	サーバーホスト名の設定は、初回起動時にのみ行います。詳細については、クライアントアプリのセットアップ項目 4 ページ以降を参照してください。
言語	iOS/Android 共通	Workspace Mobility のクライアントアプリでは 13 言語をサポートしています。 →日本語、英語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、デンマーク語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、ノルウェー語、ロシア語、スペイン語、スウェーデン語 ※設定後、言語変更はすぐに有効になります。
ホームボタン	iOS	ホームボタンを押してクライアントアプリを終了する場合の、Workspace Mobility の動作影響を選択できます。 ■[ロック]：クライアントアプリからログアウトします。クライアントアプリを再度タップすると、ログインを求められます。 ■[閉じる]：ホームボタンを押すと、ログアウトすることなくクライアントアプリが閉じられます(最小化されます)。その後、クライアントアプリを再びタップしてもログインは求められることなく、ホームボタンを押したときの画面に戻ります。(ログアウト、タイムアウト時間が過ぎた場合は除きます)
HTML で表示する	iOS/Android 共通	この設定を有効にすると HTML メールの表示が有効化されます。この設定は通常システム管理者によって管理され、状況によってはシステム管理者が HTML メールを無効にする場合もあります。ただし、メールによって問題が発生する場合は、デスクトップで[ツール]>[リセット]をタップしてこの設定を無効にし、メールを再インポートしてみてください。
ローミング時の自動同期	Android	サポート対象外の機能です。初期設定のまま、変更しないでください。
ローミング時のプッシュ	Android	

5.2 セキュリティ設定

項目	OS	説明
ログアウト タイムアウト(分)	iOS/Android 共通	クライアントアプリの無操作時間における自動ログアウト時間を設定します。 クライアントアプリを開いた状態で何も操作しないまま設定した分数が経過すると、クライアントアプリは自動的にログアウトされます。
プライベート パスワード	iOS/Android 共通	サポート対象外の機能です。初期設定のまま、変更しないでください。
SIM 変更時の動作	Android	
クライアント証明書	Android	

6. メール

Workspace MobilityではMS Exchange/Office365 Exchange Onlineと連携したメール環境を使用します。その他のメールアプリ環境とは切り離された環境となります。メールに関する設定の多くは以下の画面から行います。
※TOP画面右上の[設定]をタップし、ツール画面の[設定]内に、以下[メール]の設定項目があります。

6.1 メールの同期設定



項目	OS	説明
メール同期	iOS/Android 共通	メールを 【受信トレイ】 やその他のメールフォルダで送受信できるようにするには、この設定を有効にしてください。無効の場合、メールが同期されなくなり、 【受信トレイ】 アイコンはデスクトップから削除されます。
同期する日数 (過去)	iOS/Android 共通	メールが同期されると、ここで選択した日数分(過去)のメールが 【受信トレイ】 で利用可能になります。なお、同期日数の値が大きくなると 【受信トレイ】 の応答が遅くなるため注意してください。
送信ボタンの設定	iOS/Android 共通	ここでは、メール作成フォームで 【送信】 をタップしたときの動作を選択できます。 【同期時に送信】 を選択すると、新規メールは 【送信トレイ】 フォルダに保存されます。次の手動同期またはプッシュ同期まで送信されません。 【すぐに送信】 を選択すると、新規メールはすぐに送信されますが、新規項目はサーバーコンポーネントから取得されません。この場合、サーバーの負荷と同期時間が大幅に減少します。 【すぐに送受信】 を選択すると、新規メールはすぐに送信され、通常のメール同期が実行されます。

並べ替え	iOS	メールフォルダ内のメールをデフォルトで並べ替える順序を設定するには、このオプションをタップします。元のデフォルト値は 【日付(降順)】 です。
新着メール通知 開始／終了時刻 バイブレーション通知	iOS/Android 共通	<p>【新着メール通知】をタップして、新規メールをクライアントアプリで受信したときに再生するサウンド(またはサウンドなし)を選択します。これらのメールサウンドはクライアントアプリに搭載されています。</p> <p>また、【バイブレーション通知】を有効にすることにより、新着メールを受信するとデバイスが振動するように設定できます。</p> <p>【開始】と【終了】で通知時間の範囲を指定すると、生活時間帯を考慮して新着メール受信を無音に設定できます。</p>
メール取得 間隔 開始／終了時刻 週末に実行	Android	<p>【有効】を選択すると、クライアントアプリから開始（プル）するメール同期が有効になります。上記を有効にした場合、【間隔】で指定した時間（分単位／10～120 分の範囲で選択）ごとに同期を自動実施します。</p> <p>【開始】と【終了】で取得時間の範囲を指定すると、生活時間帯を考慮したメール取得実施時間を設定できます。また、【週末に実行】にて週末のメール取得実行有無も制御可能です。</p>
署名	iOS/Android 共通	このフィールドに入力したテキストは、送信されるすべての新規メールに追加されます。通常は、署名を追加する場合にこのフィールドを使用します。システム管理者がサーバ側で設定した署名と合わせて利用することが可能です。

6.2 メールフォルダの設定

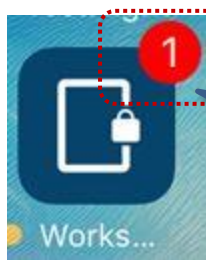


項目	OS	説明
コンテンツの同期	iOS/Android 共通	有効にすると、サブフォルダでのメール同期がデフォルトで有効になります。 この設定にかかわらず、フォルダ構造自体(メールなし)はコラボレーションシステムとデバイスの間で常に同期されます。
同期する日数 (過去)	iOS/Android 共通	メールは、 [同期する日数(過去)] フィールド([コンテンツの同期] が有効な場合にのみ表示されます)で指定した日数分同期されます。ユーザーは、個々のメールフォルダの設定を変更できます(「フォルダの表示 53 ページ」を参照)。
全フォルダに適用	iOS/Android 共通	[全フォルダに適用] をタップすると、指定したフォルダ設定はすべてのフォルダに即座に適用されます。

※コラボレーションシステムに多数のフォルダがある場合は、クライアントのパフォーマンス影響を考慮し、**[同期する日数(過去)]**フィールドの設定値を短期間に設定することをお勧めします。

6.3 未読メール件数の表示設定 (iOS 端末)

デフォルトの設定ではホーム画面上のアイコンに未読メール件数が表示されません。
iOS の[設定]-[通知]で「DME」を選択し、[App アイコンバッジ表示]を有効化すると表示されるようになります。



ホーム画面上のアイコンに表示
されるメール未読件数

7. カレンダー

Workspace MobilityではMS Exchange/Office365 Exchange Onlineと連携したスケジュール環境を使用します。その他スケジュールアプリ環境とは切り離された環境となります。スケジュールに関する設定は以下の画面から行います。
※TOP画面右上の[設定]をタップし、ツール画面の[設定]内に、以下[カレンダー]の設定項目があります。

7.1 カレンダー設定同期



項目	OS	説明
カレンダー同期	iOS/Android 共通	Exchange/Office365 のスケジュールとの連携表示の有無を設定します。 ※初期設定時は有効化されています。 無効にすると、[カレンダー]アイコンがTOP画面から削除され、デバイス上で会社用のカレンダーを表示できなくなります。
同期する日数 (過去)	iOS/Android 共通	ここではカレンダー項目を表示させる日数(過去)を選択します。[同期する日数(未来)]フィールドとこのフィールドによってカレンダー同期ウィンドウが構成されます。 ※設定期間が長いほど更新に時間がかかりますので注意してください。
同期する日数 (未来)	iOS/Android 共通	ここではカレンダー項目を表示させる日数(未来)を選択します。[同期する日数(過去)]フィールドとこのフィールドによってカレンダー同期ウィンドウが構成されます。 ※設定期間が長いほど更新に時間がかかりますので注意してください。
通知音	iOS/Android 共通	カレンダー通知を表示するときに、下の[サウンド]フィールドで指定されたカレンダーのサウンドが再生されます。

サウンド	iOS/Android 共通	[通知音]フィールドを有効にすると、カレンダー通知の発信時に再生するサウンドを選択できます。[リマインダー]または標準の Apple[OS Alert]を選択できます。
バイブレーション LED 点滅 ポップアップを表示 する	Android	カレンダー通知の発信時の端末の挙動を設定できます。 バイブレーション有無、LED 点滅有無、ポップアップ表示有無を制御可能です。
カレンダー取得 間隔 開始／終了時刻 週末に実行	Android	[有効] を選択すると、クライアントアプリから開始（プル）するカレンダー同期が有効になります。上記を有効にした場合、 [間隔] で指定した時間（分単位／10～120 分の範囲で選択）ごとに同期を自動実施します。 [開始] と [終了] で取得時間の範囲を指定すると、生活時間帯を考慮したカレンダー取得実施時間を設定できます。また、 [週末に実行] にて週末のカレンダー取得実行有無も制御可能です。
デバイスにコピー	iOS	サポート対象外の機能です。初期設定のまま、変更しないでください。
DME で表示	iOS	

7.2 カレンダーの表示について

カレンダー表示の表示は「一日単位」、「一ヶ月単位」、「予定一覧表示」の 3 種類の画面表示に切り替えることが可能です。



[月表示]：1 か月間のスケジュールの概要を表示します。前の月 または次の月に移動するには、月カレンダーをスワイプするか、月名と年の近くに表示される左矢印または右矢印をタップします。今日の日付は凹状になり、グレーの背景で表示されます。週数は左端に表示されます。太字のテキストで表示された日付には予定が含まれています。日付をタップすると、その日の予定が表示されます。現在選択されている日は青の背景で表示されます。選択した日付の予定は、月表示の下にリストされます。

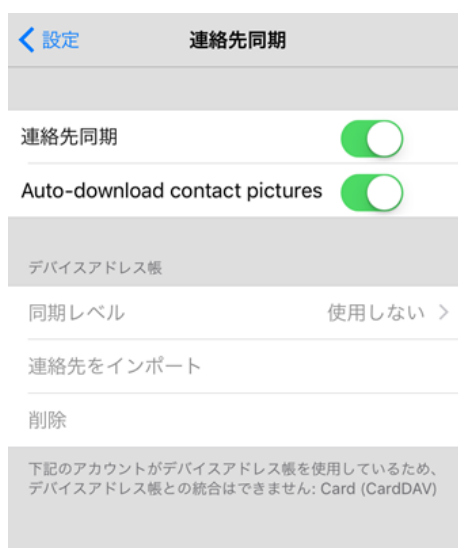
[日表示]：1 日のカレンダー項目をすべて表示します。前の日 または次の日に移動するには、スワイプするか、曜日と日付の近くに表示される左矢印または右矢印をタップします。イベントは件名（場所）として表示されます。表示されるイベントは、タイプに従って色分けされます。（緑：個人の予定、青：承諾された会議、赤：仮承諾された会議、金：終日のイベント）

[予定一覧表示] この表示は、すべての予定を 1 画面にリストします。

8. 連絡先

Workspace MobilityではMS Exchange/Office365 Exchange Onlineと連携した連絡先環境を使用します。個人管理の連絡先アプリ環境とは切り離された環境となります。連絡先に関する設定の多くは以下の画面から行います。
※TOP画面右上の[設定]をタップし、ツール画面の[設定]内に、以下[カレンダー]の設定項目があります。

8.1 連絡先同期



項目	OS	説明
連絡先同期	iOS/Android 共通	Exchange/Office365 の連絡先との連携表示の有無を設定します。 ※初期設定時は有効化されています。 無効にすると、[連絡先]アイコンが TOP 画面から削除され、デバイス上で連絡先を表示できなくなります。
写真データの自動取得	iOS	有効にした場合、Exchange/Office365 で設定している写真データを取得・表示します。
並べ替え	Android	連絡先の並べ替え方法として、 [名、姓] 、もしくは [姓、名] を選択できます。
同期レベル	Android	サポート対象外の機能です。初期設定のまま、変更しないでください。
連絡先をインポート（デバイスアドレス帳）	Android	
削除	Android	

9. TO-DO（タスク）

Workspace MobilityではMS Exchange/Office365 Exchange Onlineと連携したTO-DO（タスク）環境を使用します。TO-DO（タスク）に関する設定の多くは以下の画面から行います。

※TOP画面右上の[設定]をタップし、ツール画面の[設定]内に、以下[TO-DO]の設定項目があります。

9.1 TO-DO 同期



項目	OS	説明
TO-DO 同期	iOS/Android 共通	Exchange/Office365 の TO-DO（タスク）との連携表示の有無を設定します。 ※初期設定時は有効化されています。 無効にすると、[TO-DO]アイコンがTOP 画面から削除され、デバイス上で TO-DO を表示できなくなります。
同期する日数 (過去)	iOS/Android 共通	ここでは TO-DO を表示させる日数(過去)を選択します。[同期する日数(未来)]フィールドとこのフィールドによって TO-DO 同期ウィンドウが構成されます。 ※設定期間が長いほど更新に時間がかかりますので注意してください。
同期する日数 (未来)	iOS/Android 共通	ここでは TO-DO を表示させる日数(未来)を選択します。[同期する日数(過去)]フィールドとこのフィールドによって TO-DO 同期ウィンドウが構成されます。 ※設定期間が長いほど更新に時間がかかりますので注意してください。

10. その他

10.1 メモ同期（サポート対象外）

本サービスにおいてサポート対象外の設定項目となります。初期設定のまま、変更しないでください。

※但し、Workspace Mobility のクライアントアプリ内で単体機能としてメモ帳代わりにご利用いただくことは可能です。

10.2 フィード同期（サポート対象外）

本サービスにおいてサポート対象外の設定項目となります。初期設定のまま、変更しないでください。

10.3 ファイル同期（サポート対象外）

本サービスにおいてサポート対象外の設定項目となります。初期設定のまま、変更しないでください。

11.Q&A よくある質問

[メール] 関連

Q

署名は変更できますか？

A

iOS 端末の場合は、クライアントアプリのトップ画面で[ツール](右上の歯車マーク)⇒[設定]⇒[メール]⇒[署名]から変更可能です。

Android 端末の場合は、クライアントアプリトップ画面で[ツール](右上の歯車マーク)⇒[メール]⇒[署名]から変更可能です。

Q

特定のユーザーからのメールが文字化けして表示されます。パソコンで同じメールを見た場合、文字化けしていません。

A

受信したメール本文の文字コードが環境依存のものを使用している可能性があります。

クライアントアプリはインターネットで標準化されているメール用文字コード(Shift-JIS,JIS,unicode)に対応しています。非対応の文字コードについてはクライアントアプリから確認できないため、他メールソフトにてご確認ください。

Q

クライアントアプリにてメールの添付ファイルを参照できますか？

A

メールの詳細画面で、クリップボタンをタップすると添付ファイル一覧が表示され、ファイル名をクリックすると添付ファイルがダウンロードされ参照することが可能です。

Q

添付ファイルを確認する際に使用される Workspace Mobility ビューアーでサポートしているファイルの種類を教えてください。

A

以下のファイルをサポートしております。

項目	拡張子	説明
Microsoft Word	doc	パスワード有の場合は閲覧できません。
	docx	パスワード有にも対応しています。
Microsoft PowerPoint	ppt	パスワード有の場合は閲覧できません。
	pptx	パスワード有にも対応しています。
Microsoft Excel	xls	パスワード有の場合は閲覧できません。
	xlsx	パスワード有にも対応しています。
CSV ファイル	csv	テキスト形式で表示されます。
テキストファイル	txt	文字コード：Shift JIS、UTF-8、Unicode
Adobe Acrobat PDF	pdf	パスワード有の場合、パスワード要求画面にて入力することにより閲覧できます。
zip ファイル	zip	zip ファイルの解凍と圧縮は FileBrowser にて行えます。 パスワード有 zip も解凍と圧縮が可能です。

	画像ファイル	wmf	
		bmp	
		gif	
		jpg	
		png	
	※Excel について、マクロは非対応となります。		
※Power Point について、アニメーションは非対応となります。			
Q	Workspace Mobility でメールを既読後、削除しましたが、OWA（Outlook Web App）の削除済みアイテムでは未読のままです、これは仕様ですか？		
A	Workspace Mobility では、最後のアクション(動作) のみ同期します。したがってこの場合既読⇒削除となるため、削除のみ同期されます。		
Q	同期可能なメールフォルダ・同期されないメールフォルダについて教えてください。		
A	同期可能なフォルダは、「送信済みアイテム」、「未読メール」、「受信トレイ」と配下のフォルダです。 「下書きフォルダ」、「削除済みアイテム」、「ごみ箱」等は同期されません。		
Q	同期に時間がかかります。どうすれば短縮できますか。		
A	クライアントアプリは、同期対象のメールが 1,000 通以上あるとパフォーマンスが低下します。 [ツール]→[設定]→[メール]→[同期する日数（過去）]および[ツール]→[設定]→[フォルダ]→[同期する日数（過去）]にて同期日数を調整して下さい。		
[連絡先] 関連			
Q	連絡先の一覧が名、姓の順番で表示されます。姓、名に表示順を変更できますか？		
A	Android の場合は、Workspace Mobility のトップ画面で[ツール] - [設定] - [連絡先] - [並べ替え]から変更可能です。 iOS の場合は、日本語で登録された情報は自動的に姓、名の順番で表示されます。英語で登録された情報はデバイス本体に依存し、デバイス本体の[設定]-[メール/連絡先/カレンダー]-[表示順序]から変更可能です。		
クライアントアプリ 関連			
Q	クライアントアプリを削除するにはどのようにすれば良いですか		
A	他のアプリケーションと同様の方法にて削除いただければ、クライアントアプリ内のすべての情報も含め削除されます。 アプリケーションの削除方法は、端末メーカーの操作マニュアル等をご確認ください。 ※ Android 端末から Workspace Mobility を削除する際に、Workspace Mobility がデバイス管理者に設定されていると Workspace Mobility が削除できないことがあります。その場合、Android メニューで[設定]⇒[セキュリティ]⇒[デバイス管理者を選択]から Workspace Mobility のチェックを外し、デバイス管理者を解除してから、アプリケーションの削除を実行してください。		
Q	iOS の和暦表示は使用できますか？		

A	Workspace Mobility では和暦（平成表示）はサポートしておりません。 iOS にて和暦表示に設定していると、カレンダー機能の一部に不具合が生じることがあります。
Q	Android 端末で、Workspace Mobility のログアウトの設定をしたのに指定時間がきても、ログアウトしません。
A	Workspace Mobility のログアウトの設定ですが、iOS 端末と Android 端末では挙動が異なります。 iOS 端末 : Workspace Mobility での操作中断後に、自動ログアウトタイマーが作動します。 Android 端末 : 端末がスクリーンロックされてから、自動ログアウトタイマーが作動致します。 このため、Android 端末では、スクリーンロックをしてから動作確認してください。
Q	ログインパスワードを変更したのですが、クライアントアプリでまだ旧パスワードでログインできてしまいます。
A	パスワード変更が反映されるまで時間がかかることがあります。 Active Directory 環境で 5 分程度お待ちください。
Q	iOS デバイスのバックグラウンド同期が実行される条件について教えてください。
A	バックグラウンド同期の実行には、下記条件を満たす必要があります。 ・Workspace Mobility コネクタサーバ側で必要な設定が実施されていること。 ※必要な設定については管理者にお問い合わせください。 ・クライアントアプリが起動しており、ログイン後の初回同期が完了していること。 ・[iOS 設定]→[通知]→[Workspace Mobility]にて[通知のスタイル]が「バナー」もしくは「ダイアログ」になっていること。 ・[iOS 設定]→[一般]→[App]のバックグラウンド更新にて、[App のバックグラウンド更新]と[Workspace Mobility]ともに「ON」になっていること。
Q	クライアントアプリのログイン時にロック解除パターンを使用していますが、何度かログインしていると、パスワードによるログインを求められます。
A	クライアントアプリのログイン時にロック解除パターンを使用する設定にしてもセキュリティ保持のために一定時間経過後（デフォルト 24 時間後）パスワードによるログインを行うよう Workspace Mobility サーバ側で設定されています。設定変更についてはシステム管理者にお問い合わせください。
Q	ロック解除パターンを設定している場合、クライアントアプリを起動するとロック解除パターン画面が表示されます。ID、パスワード入力画面を表示することはできますか？
A	端末を横向きにすると ID、パスワード入力画面が表示されます
Q	クライアントアプリの設定で初回ログイン時にセキュアコンテナサーバのホスト名を間違えて入力してしまい、ログインすることができません。対処方法を教えてください。
A	初回ログイン時に設定するホスト名情報は、クライアントアプリ内にデータとして保存され、クライアントアプリを初期化することで改めてホスト名を指定することができます。クライアントアプリの初期化は以下のように行います。 ・Android の場合 「設定」-「アプリ」-「Workspace Mobility」内の【データを消去】を実行。 ・iOS の場合

[設定]-[一般]-[サーバーホスト名]より、ホスト名を変更してください。

12. 改定履歴

更新日	内容
2016 年 9 月 8 日	初版作成
2016 年 12 月 16 日	アイコン画像を差し替え



Workspace Mobility

クライアントアプリセットアップガイド

2016 年 12 月版

本書に記載されている情報、事項、データは、予告なく変更されることがあります。

本書に記載されている情報、事項、データは、誤りや落丁がないように最善の注意を払っていますが、本書に記載されている情報、事項、データによって引き起こされた遺失行為、傷害、損害等について、弊社は一切、その責任を負いません。

本書を弊社に無断でその一部、あるいはその全部を複写、複製（コピー）、追加、削除、加工および転載することを禁じます。

※法律に関する事項：

Workspace MobilityはNTT Communicationsの商標サービスです。

DMEはExcitor A/S社の商標です。

Microsoft SQL Server®、Microsoft Exchange、Outlook®、Windows Server® 2003/2008/2012、Active Directory®は米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。

Apple™、Apple iPhone™、iPod touch™およびiPad™は米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標または登録商標です。

※Workspace Mobility 免責事項

・故意や正常な操作に関わらず、管理コンソールをご利用いただいたことにより生じる直接的また間接的な損失に対して当社および関連会社には一切責任を負うものではありません。

・故意や正常な操作に関わらず、デバイスロックおよびリモートワイプを実行した結果、端末不具合および端末データが消えても当社および関連会社にはデータ復旧や再設定のための作業等一切責任を負うものではありません。

・本サービスの設定により、各端末との通信が増える事が想定されます。キャリアモデルの場合はパケット定額プランを推奨します。また設定により、定額プランの上限値を超えないか等の確認はお客様にて行ってください。

・当社は理由の如何に関わらず、情報の内容および変更により生じるお客様の直接的または間接的な損失に関しても、一切責任を負うものではありません